

## C-28 既製服と東北人の体型についての考察

仙台白百合短大 O田山仁子 鈴木良子 高橋よう子

目的 既製服の量産化は日本各地の都市、農村、僻地にまで「および」、着用されている現在であるが、体型の研究が着々おこなわれている現在でも体型の地域差を考慮に入れて製作されていない現状であるが、私は東北人の体型に関して長い間研究を重ねて来たので、今回は30才以上の婦人の「既製服の着心地」について調査した結果、補正が必要であることを痛感し既製服に対する今後の課題にしたいと思う。

方法 東北に生まれ現在も居住している30才以上の人をえらんで体型観察（測定も含めて）をおこなった。既製服を購入しそのまま着用したものと、東北体型をとり入れて補正したものとをそれぞれ着用させ、着心地について調査した。

結果 既製服をそのまま着用したものとより補正したものが着易い、着くづれしない、癒れないなどの結果が得られた。